

今年は昭和元年からちょうど 100 年目。激動の時代を経て令和の世を迎え、テクノロジーが生活を一変させても、人々の悩みや喜怒哀楽といった感情の機微はそう変わっていないように思います。進歩の速さの中で見失いがちな人間の本質的な部分に目を向けること。そこに、時代を超える知恵が宿るのかもしれない。

社労士がズバリ! 職場のQ&A

今月のQ & A : 【離職理由の変更の申し出について教えてください】

- Q** 機械部品の製造会社を営んでいます。入社半年を過ぎた 28 歳の従業員が、退職を申し出てきました。しかしその後、雇用保険の加入が 1 年に満たないと失業給付が出ないことをネットで調べて知った本人が「迷惑を掛けたくないから離職理由を会社都合にしてほしい」と言ってきました。応じて問題はないのでしょうか。
- A** 迷惑を掛けたくないと言っておきながら、離職後に前言を翻して不当解雇と主張し解雇手当不支給を申告した事例があります。離職理由を自分の都合の良いものに変えるよう申し出ていますが、明らかな不正行為なので決して応じてはいけません。雇用保険法では事業主が離職理由について虚偽の記載を行う等、偽りその他不正の行為をした場合、不正に受給した者と連帯して不正受給金の返還、納付命令、詐欺罪等として刑罰に処せられる場合があります。また当該従業員についても不正に受給した金額の返還と、さらにこれに加え一定の金額の納付を命ぜられ、詐欺罪等で処罰されることがあります。



光を放つ 名言コラム

【役に立たないと感じるのは今だけかも】

この本は読者の役に立つことを願って書いたが、役に立たないと思った人もいるかもしれない。しかし「おそらく“役に立たない”と感じるのは今現在だけに過ぎない気がしないでもない」。時間が経てば「何らかの収穫が生じる可能性は低い」と思います。精神科医で作家の春日武彦氏は著書『こころの違和感 診察室』の前書きでこうつぶっていました。著者のああでもない、こうでもない的文章が面白くて笑ってしまいましたが、確かに、心の問題は生活のちょっとした困り事とは違って「この情報が役に立ちそうだ」「これで解決だ」とはなりにくいのでしょう。今は「役に立つ」情報が山ほど手に入るために賢くなった気がしますが、それは知恵を蓄えることとは違うのかもしれない。白黒つかないことや、難しいこと、複雑なことをゆっくり考えることが、先々役に立つかもしれないと、著者の言葉を読んで考えました。

気軽に Let's 英会話

今月のキーワード : 【紙幣】

二千円札は 2000 年 7 月に発行されました。もう四半世紀が経つんですね。「紙幣」は“bill”“note”“banknote”などといいます。「この紙幣を硬貨に両替してもらえますか？」は“Can you change this bill into coins?”、「ポンド紙幣にはチャールズ国王の肖像が描かれている」は“Pound notes feature the portrait of King Charles.”です。日本の紙幣はミツマタが原料の紙でできていますが、外国では高い耐久性などの利点がある「ポリマー紙幣’“polymer banknotes”が増えています。

ほうれん草がしなびてしまつたら、根元を少し切つて砂糖水に浸けておくとシャキツとした食感が戻ることがあります。ゆでるときは根元を少し切っておくと甘みが増します。また、ゆでたほうれん草を冷水で冷やす際に、少量の砂糖を加えると色鮮やかになります。



